



坂戸市立坂戸小学校 **笑顔・感動・花いっぱい**
夢道場・坂戸小だより

【学校教育目標】

○やさしく (徳)

○かしこく (知)

○たくましく (体)

学校経営方針 「明るく 元気に 爽やかに すべての対応を親身になって丁寧に」

令和3年7月14日
第9号

680名のかけがえのない命『坂戸小・いじめ0(ゼロ)宣言』/「いじめは、人の命を傷つける行為」

学級や学年における指導をはじめ、学校教育全体で人権教育を推進しています。人権問題でも集団生活における身近な問題である「いじめ」。これまで、お話朝会や避難訓練、交通安全指導等の度に何度も児童に「命の大切さ」について話をしています。「この世の中で、一番大切なものは何ですか」。児童たちは必ず異口同音にしっかりと「命」と答えてくります。そうです、かけがえのない命です。「かけがえのない」とは、「この世の中にたった一つしかない、無くなったら他に代わるものがない」ということ。自分の大切な命は、他の人にとっても「かけがえのない」もの。自分の命と同じくらい、他の人の命を大切にしなければなりません。この坂戸小には現在、680名の児童がいます。どれも真にかけがえのない命です。皆が、このかけがえのない命を大切にしながら、それを活かそうと一生懸命に生きている。それなのに、世の中を広く見渡すと、人はどうして傷つけ合うのか。人の心を傷つけることは、人の命を傷つけることと同じだと考えます。「坂小っ子の合言葉」=「やさしく かしこく たくましく」。まず一番目にあるのが「やさしく」。先ずは、「坂小っ子たちよ、優しくあれ!」。本当に強い人とは、優しく、相手のことを常に「思いやり、実行できる人」です。

いじめは絶対に許されません。坂戸小の教職員全員が、いじめは絶対に許しません。なぜなら、人の心を傷つけることは、かけがえのない命を傷つけることだからです。坂戸小では、令和元年度から改めて『いじめ0(ゼロ)宣言』を掲げ、いじめのない学校を目指しています。『いじめ0(ゼロ)宣言』の合言葉は、『己の欲せざる所は、人に施すことなかれ』。『己の欲する所を、人に施せ』。『義を見てせざるは、勇無きなり』。子供たちに大人になっても忘れないでほしい言葉。今年度も改めて確認したいと思います。

『己の欲せざる所は、人に施すこと勿れ』、『己の欲する所を、人に施せ』

自分がされて嫌なことは、他の人には絶対にやってはいけない。これは当たり前。坂小っ子たちは、さらにその上を行き、自分がしてもらって嬉しいことを、他の人にする、という精神。坂小っ子全員が、常にこの言葉を胸に秘め、行動してほしいと願っています。

『義を見てせざるは、勇無きなり』

『正義』の「義」としても使われるように、「人として当然行わなければならないこと」。「勇」は、「勇氣」の「勇」。「義を見てせざるは、勇無きなり」とは、「人として当然行うべき正義と知りながらそれを実行しないことは、勇氣が無いのと同じことだ」という意味。坂小っ子たちには、もしも辛い思いで苦しんでいる仲間がいたら、見て見ぬふりをしないで真の勇氣をもって臨んでほしいと思います。

『家庭・学校・地域で子供の声、心の叫びを』～「見逃さない・見過ごさない・見捨てない」～

1学期も残すところあと僅か。落ち着いた生活を送りながら、互いに切磋琢磨し合い、明るく元気に頑張っている坂小っ子たちの姿が大いに見られました。これもご家庭・地域の皆様のご支援があつてのこと。月ごとの生活アンケートでも、ほぼ100%の児童が『学校が楽しい』と回答しています。しかし、それは毎日とは限りませんし、中には様々な困難さや悩みを抱えながら日常生活を送っている児童も当然ながらいると思います。いつの時代も、どんな子供であっても学校という集団生活の中での人間関係や学業のこと、家庭のことや将来のこと等、様々な悩みを抱えながら成長していきます。さらに長期に渡る「新型コロナウイルス感染症への不安」や「新しい生活様式や自粛生活の中での息苦しさ」等、相当なストレスを抱えていても決して不思議ではありません。

改めてご家庭や地域の皆様をお願いします。子供たちを見守っていただきながら、「子供たちの声に耳を傾ける、さらには、声にはならない心の叫びも聴きとるように努めていただきたい」のです。そのために「普段から子供の話をよく聴いて、一緒に考えられる環境づくり」も大切です。学校でも引き続き、児童理解に努め、担任だけでなく、さわやか相談員やスクールカウンセラー等も含めた学校全体のチームで対応していきます。学校・家庭・地域の三者の連携はもちろんですが、学校ホームページにも掲載しておりますように、埼玉県教育委員会よりの『保護者の皆様へ～かけがいのない子供たちを守るために～』、『埼玉県ネットトラブル注意報』、「子供のメンタルヘルスについて」、埼玉県警察本部よりの「青少年の非行・被害防止等について」、埼玉県坂戸保健所よりの「子どもの心の健康相談」、その他、関係機関が設置している「いじめ・不登校などの学校生活での悩み・虐待」や「いのちの電話」等の無料の相談窓口もあります。是非、参考になさっていただき、ご活用ください。大切な子供たちを守るため、**『5つの見＝見逃さない・見過ごさない・見捨てない・見守る・見届ける』**。引き続き宜しくお願いいたします。

「家庭用いじめ発見チェックシート」

1 起床から登校前

□布団からなかなか出てこなかったり、具合が悪そうであったりする □けだるそうな、疲れた表情である □いつもと違って朝食を食べようとしない □ぼんやりしたり、ふさぎこんでいたりする □学校に行くのを渋ったり、登校班の集合場所に行きたがらなかったりする

2 登校中

□友達の荷物を持たされている □一人で登校するようになる □遠回りして登校してくる □途中で家に戻ってくる

3 帰宅時

□理由のはっきりしない服の汚れ、破れやボタンのほつれがある □あざや擦り傷があってもその理由を言わない □自分の部屋に駆け込み、なかなか出てこない □いつもより帰宅が遅い □自転車や持ち物等が壊されている □学校の話をしなくなる □外出したがる □プリントが破れている、道具や持ち物に落書きがある

4 夕食から就寝まで

□食欲がない □特定の友達に対する言葉遣いが不自然に丁寧である □友達の話をしなくなったり、いつも遊んでいる友達と遊ばなくなったりする □お金の使い方が荒くなったり、無断で持ち出したりするようになる □部屋にある持ち物や学用品がなくなっていく □買いやった覚えのない品物をもっている □メールはこっそり見る、鳴っている携帯電話に出たがらない □部屋に閉じこもりがちで、好きな趣味などにも興じなくなる □家族の者と話をしなくなる □いじめの話をするとき強く否定する □弟や妹をいじめるなど、急に乱暴になったり情緒不安定になったりする □疲れた様子であったり、なかなか寝つけなかったりしている □普段より暗かったり、逆に明るく演じたりする感じがする

* 気になることがありましたら、いつでも学校にご相談ください。

『心に残る言葉は一生の宝物』～「論語」等をご家庭でも～

ご存じの通り、『坂戸小・いじめゼロ宣言』の合言葉は、今から約2550年前の中国の孔子の言葉をまとめた『論語』からの言葉です。日本には古くから「四書五経」等を「素読」する教育が重視され、現代においても見直されています。教科書にも古典に親しむための題材として『論語』等からの引用が掲載されています。他社のものも含めいくつか紹介しますので、お子様と一緒に話題にしてみたいかがでしょう。

□百聞は一見にしかず。(「漢書」) □学びて思はざれば、則ち罔し。思いて学ばざれば、則ち殆し。 □過ちて改めざる、是を過ちと謂う。 □吾れ日に三たび吾が身を省みる。 □仁者は必ず勇有り。勇者は必ずしも仁有らず。 □学びて時に之を習う、亦た説ばしからずや。朋あり遠方より来る、亦た楽しからずや。 □政きを温めて新しきを知る、以て師と為るべし。 □吾十有五にして学に志す。三十にして立つ。四十にして惑わず。五十にして天命を知る。六十にして耳順う。七十にして心の欲する所に従いて矩を踰えず。 □一を聞きて以て十を知る。(以上「論語」) □心焉に在らざれば、視れども見えず、聴けども聞えず、食らえども其の味を知らず。(「大学」)

≪ 夢道場・ほっとニュース ≫

3年・社会科『オンラインで社会科見学』

3年生が社会科の体験実習として毎年実施している社会科見学。第一弾は、ベルク(株)のご協力のもと、オンラインで実施しました。スーパーマーケットの裏側や仕事の内容を映像で紹介いただくとともに、児童たちの様々な質問に社員の方々が丁寧に答えてくださいました。大変貴重な学習となりました。



6年『「浮いて、待て!」着衣泳体験実習』

6年生が、水難事故防止を目的に着衣泳の体験実習を行いました。自らの命を守る合言葉は、「浮いて、待て!」。児童たちは真剣に実習に臨んでいました。毎年多発する水難事故。是非、ご家庭でも水の事故防止について話題にしてみてください。



計画委員会の新企画『放送による音楽発表会』

令和元年度より始めた音楽発表朝会も、残念ながら自粛が続いています。この度、計画委員会のアイデアで、音楽の授業での歌声や合奏を録音し、給食時の放送で流す試みが開始しました。各学年の演奏を全校で聞き合うことで励みにもなっています。



1年・音楽『楽しいね! 鍵盤ハーモニカ講習』

3年生のリコーダー講習会に続き、1年生の鍵盤ハーモニカ講習会を実施しました。音が出る仕組みや上手に演奏する方法など、指導者の方の話を楽しみながら聞き、鍵盤ハーモニカに親しんでいました。



【校長室より】『アンパンマンの歌に込められた思い』

放送朝会で、3年生がアンパンマンの替え歌を作り、生活目標を守る事の大切さを伝えてくれた。嬉しく思うと同時に、思わずアンパンマンの歌を口遊んだ。「何のために生まれて 何をして生きるのか 答えられないなんて そんなのは嫌だ! 今を生きることで 熱い心燃える だから君は行くんだ 微笑んで。 そうだ! 嬉しいんだ 生きる喜び たとえ胸の傷は痛んでも。 嗚呼 アンパンマン 優しい君は 行け! 皆の夢を守る為」。作詞は原作者のやなせ・たかし氏。年を重ねた今でも胸中に響くメッセージ。かつて、その歌詞には自身の体験や若くして命を亡くした弟への熱い想いが込められていることを知り驚愕させられた。「忘れないで夢を 零さないで涙 だから君は飛ぶんだ 何処までも。 そうだ! 恐れなくて 皆の為に 愛と勇気だけが友達さ」。「命の大切さ」や「生きることの喜びや尊さ」を、自分なりにこれからも子供たちに伝え続けたいと改めて思う。